



『リング』『らせん』のベストセラー作家!

# 鈴木光司氏 講演会

.....  
新しい歌をうたおう  
.....

—新しい家族のあり方—



アメリカ文学賞「シャーリー・ジャクソン賞」受賞!



講師

鈴木 光司 氏

Koji Suzuki

すずき・こうじ 1957年、静岡県浜松市生まれ。慶応義塾大学文学部仏文科卒。90年、『楽園』が日本ファンタジーノベル大賞優秀賞を受賞して作家デビュー。『リング』『らせん』『ループ』『パースディ』のシリーズが計800万部のベストセラーとなる。2013年7月、『エッジ』がアメリカの文学賞、シャーリー・ジャクソン賞(長編部門)を受賞。高校教師であった妻に代わり、ふたりの娘を育てた経験を持つ。ヨット、バイク、格闘技を愛する肉体派。夢は太平洋横断。

## 子育てをしたら夢が近づいた

結婚して2年目に長女が生まれました。妻がフルタイムで働いていたので、塾を自営していて時間に自由がきく僕が子育てと家事を引き受けました。「子育てをしたら僕の夢は遠のく」と不安に思いましたが、逆に子育てをすることで小説のレベルが上がり、自分の夢が近づいてきました。また、子どもの夜泣きのお世話をし、泣く理由を考えるうちに想像力や忍耐力が身につき、責任感がわいてきました。

25年ほど前、僕が子育てをしているとみんなとても親切にしてくれました。しかし、その裏には好奇心とか同情がありました。今のように男女共同参画という意識が高まってくると全然違います。これからの若いカップルに言いたいのは、男が子育てに関わるというのは夢を諦めて子育てをするのではなく、夢と子育てを両立させるぞという意欲でやってもらいたいです。そしてそれが成り立つような社会になってほしいです。

## パートナーシップの要は、「話し合うこと」

妻と夫はパートナーシップを築いて一つの家に暮らします。男と女は別の生き物なので、お互いを理解しあ



のに何が必要かといったら、それはコミュニケーション、話すことです。片方が自分流のやり方を押し通してはいけないと思います。何か事が起こったらなるべく早い段階で徹底的に言葉を尽くして話すのが大切です。自分の歴史をきちんと伝えれば相手が理解してくれます。そして、相手を理解すると許容することができます。

僕は娘たちとも色々語り合ってきました。

それは非常に運が良かったことだと思います。

## 幸運な人生を次の世代へ

子育てに深く関わってきた10年間に、作家デビュー、ベストセラー、自分の仕事の実績を大きく伸ばすことができました。これほどまでに運が良くなったのは、いろんなことを分析し、徹底的に論理的に考え、なるべく正しい判断をしようと心がけているからだと思います。

世界は目に見えないところで糸が複雑に絡み合っています。実家の母は、僕のために雨の日も風の日もお墓参りをして幸せを祈り続けてくれました。だから僕はこんなに幸運な人生を送れているのだと実感しました。それをそのまま子どもたちに返したいと思います。